自然エネルギー利用促進、環境施策が前進

矢野市長提案の狛江市予算が成立

- 市庁舎屋上に２０ｋｗの太陽光パネル
- 駒井保育園と五小に１０ｋｗの太陽光パネル
- 一般住宅の太陽光パネル設置等に補助

お花見客でにぎわう西河原公園（４月７日）

大腸がん検診拡充、前立腺がん検診実施

矢野市長が提案した狛江市の新年度予算が成立し、環境対策が大きく前進します。

市庁舎の耐震改修にあわせて屋上に20ｋｗの太陽光パネルを設置するとともに屋上緑化を行います。隣に建設される防災センターでは壁面緑化が実施されるとともに、トイレの水に雨水を利用します。また駒井保育園と第五小学校の屋上に10ｋｗの太陽光パネルが設置されます。一般住宅の太陽光パネルや太陽熱利用設備などへの補助制度が新設されます。

公共施設の電力契約 東電以外の事業者と

さらには市庁舎、小中学校、地域センターなどの公共施設の電力契約が、新年度から東京電力以外の事業者「エネット」と交わされ、経費節減と安全でクリーンなエネルギー利用の促進がはかられます。

また商店街の装飾街路灯のＬＥＤ化に助成します。都の補助と合わせて９割補助となります。このほか庁用車に電気自動車を購入、また東和泉２丁目の旧清水川の緑道整備が行われます。

新築される駒井保育園の完成予想図

普通教室へのエアコン設置完了へ

普通教室へのエアコン設置を促進し、補正予算と新年度予算で整備を完了させます。

また中学校給食の充実へ、西野川の旧七小跡地に給食センターを整備するための実施設計を行います。行き届いた教育へ少人数指導などのための講師派遣を増やします。

健康づくりでは、がんの早期発見へ大腸がん検診を拡大します。40歳から60歳まで５歳刻みで、節目の年になった方にクーポン券を送付し検診を促します。前立腺がん検診は、特定健診とセットで行います。

また誰もが住みやすいまちづくりを進めるため、福祉基本条例を改正します。公共施設や民間施設のユニバーサルデザイン化をすすめ、お店や共同住宅などの出入口やトイレの改修等に補助をします。

市内３つ目の特養ホームいよいよ

西野川の旧七小跡地に建設予定の市内三つ目の特養ホームは、３月に運営する社会福祉法人が正吉福祉会（本部所在地は稲城市）と決まりました。いよいよ建設に向けて動き出します。

正吉福祉会は、市内西野川にある特養ホーム「こまえ正吉苑」を運営している社会福祉法人です。新しく建設される特養ホームは、定員１００名、ショートステイ10床を予定しています。

住宅リフォーム助成 西野川に体験農園

今年度に続き上限20万円の住宅リフォーム助成制度が実施されます。そして農業者の指導で作付から収穫まで体験できる体験農園55区画が西野川に開設されます。商店街振興へ、ランチをテーマにコンテストが行われます。

また昨年末に猪方で発掘された7世紀の横穴式古墳（猪方小川塚古墳）を保存するために土地を買収します。岩戸地域センターと隣の消防団詰所を建替え合築するための設計や南部地域センターの改修設計も行われます。

多くの市民要望がもりこまれ 財政確立の成果が反映した予算

日本共産党　岡村しん議員が原案賛成の討論

予算委員会で原案賛成の討論を行う日本共産党の岡村しん議員（右）。隣は鈴木えつお議員

日本共産党は岡村議員が原案賛成の討論を行い、その中で、予算に多くの市民要望がもられたことを評価し、「これらの事業をすすめることができるのは、この間、市民ともにすすめてきた行財政改革のとりくみが大きく前進してきているから」と述べました。狛江市の借金残高はピーク時から64億円減少し、財政のゆとり度を示す経常収支比率も多摩26市で良いほうから数え10位に改善しています。

岡村議員はまた、野党の修正案について「修正案は、エコルマホールの給電ケーブルの修繕予算を全額削除しているが、専門家の調査でも「絶縁体のひび割れや、断線が生じる恐れがあり」「早急に修繕が必要」と指摘されているものであり、利用者の安全を脅かすもの」と批判しました。

無料法律生活相談

- 毎月第１火曜日…午後１時～４時
- 市役所３階　日本共産党市議団控え室

＊市議・弁護士が相談をお受けします。お気軽にご連絡ください。

＊お申し込みは３４３０－１１７７（団控室）か各市議へ

日本共産党市議団のホームページは　日本共産党狛江市議団　検索